



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社

コード番号 6406 URL <http://www.fuiitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 加藤 義一

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 0749-30-7111

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	65,622	22.2	5,053	39.3	5,618	50.1	2,992	51.3
25年3月期第2四半期	53,715	10.3	3,628	74.0	3,743	81.1	1,977	91.7

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 9,786百万円 (226.9%) 25年3月期第2四半期 2,993百万円 (128.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	31.99	—
25年3月期第2四半期	21.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	142,408		85,114		54.8
25年3月期	122,643		78,272		58.6

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 77,997百万円 25年3月期 71,917百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
26年3月期	—	9.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	27.7	11,000	19.9	11,800	17.2	6,600	19.8	71.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	93,767,317 株	25年3月期	93,767,317 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,132,591 株	25年3月期	203,231 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	93,541,907 株	25年3月期2Q	93,568,868 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了し、平成25年11月8日付でレビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計方針 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
4. その他 .....	11
(1) 受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (2012年4月1日～ 2012年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)	前年同四半期比(%)
売上高	53,715	65,622	22.2
国    内	22,472	25,716	14.4
海    外	31,242	39,906	27.7
営業利益	3,628	5,053	39.3
経常利益	3,743	5,618	50.1
四半期純利益	1,977	2,992	51.3
1株当たり四半期純利益	21.14円	31.99円	—

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、アジア地域では、中国で引き続き減速が懸念されるなど、回復のペースは緩やかなものとなりました。北米では回復基調が継続し、欧州の景気は下げ止まりが見られました。日本では、公共投資の増加や個人消費が堅調に推移したことに加え、輸出が持ち直すなど、景気は緩やかに回復基調をたどりしました。

昇降機業界におきましては、中国では緩やかな拡大傾向が続き、他のアジア地域や北米でも概ね堅調となりました。日本では、マンションの販売が大幅に伸び、事務所や商業施設の着工が増加するなど、引き続き需要は好調に推移しました。

このような情勢のもと、当第2四半期連結累計期間における国内市場では、マンションや商業施設向けに、標準型エレベータ「エクシオール」やエスカレータの販売が大きく増加しました。また、モダンゼーション事業では、安全性を向上し、防災性を高める「安全向上パッケージ」の受注が順調に増加し、既設のエレベータ・エスカレータを最新の制御システムに更新する「制御盤交換パッケージ」の販売が引き続き好調に推移しました。以上の結果、国内受注高は344億61百万円（前年同四半期比27.6%増）となりました。

海外市場においては、北米や東アジアでのエレベータ新設工事が大幅に伸長し、海外受注高は534億58百万円（同47.1%増）となりました。

以上の結果、受注高合計は、879億20百万円（同38.8%増）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質23.4%増となっています。

売上高は、国内売上高257億16百万円（前年同四半期比14.4%増）、海外売上高399億6百万円（同27.7%増）となり、計656億22百万円（同22.2%増）となりました。なお、海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質7.1%増となっています。

受注残高は、国内では、新設工事やモダンゼーション工事の増加により、466億81百万円（前連結会計年度末比23.2%増）となりました。海外では、北米や東アジアでの新設工事の増加が寄与し、982億80百万円（同38.3%増）となりました。この結果、受注残高合計は、1,449億61百万円（同33.0%増）となりました。なお、海外受注残高は為替変動による影響を除くと、実質15.9%増となっています。

損益面では、営業利益は日本や東アジアでの増益により50億53百万円（前年同四半期比39.3%増）、経常利益は金融収支の増加や為替差益の計上により56億18百万円（同50.1%増）となりました。南アジアでの退職特別加算金の計上や投資有価証券評価損の減少などで、税金等調整前四半期純利益は54億65百万円（同48.9%増）となり、四半期純利益は29億92百万円（同51.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半 期比(%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	23,945	27,958	16.8	1,249	1,563	314
北 米	5,792	6,910	19.3	79	△47	△127
欧 州	159	206	28.9	△12	△21	△8
南アジア	5,088	5,939	16.7	774	913	139
東アジア	21,576	29,061	34.7	1,554	2,848	1,294
小 計	56,563	70,075	23.9	3,644	5,256	1,611
調 整 額	△2,847	△4,452	—	△16	△203	△187
合 計	53,715	65,622	22.2	3,628	5,053	1,424

(日 本)

売上高は、主に新設工事の増加により、279億58百万円（前年同四半期比16.8%増）となりました。営業利益は、サービスモダン事業での原価低減などで、円安の影響による輸入材料費の上昇を吸収し、15億63百万円（同3億14百万円増）となりました。

(北 米)

売上高は、エレベータ新設工事の増加により、69億10百万円（前年同四半期比19.3%増）となりました。営業損益は、材料費や据付コストの増加などで、47百万円の営業損失（前年同四半期 営業利益79百万円）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質1.3%増となりました。

(欧 州)

売上高は、2億6百万円（前年同四半期比28.9%増）、営業損益は、21百万円の営業損失（前年同四半期 営業損失12百万円）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質10.0%増となりました。

(南アジア)

売上高は、59億39百万円（前年同四半期比16.7%増）、営業利益は、9億13百万円（同1億39百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、新設工事の工期延伸があったことにより実質3.3%減、営業利益は実質2.2%減となりました。

(東アジア)

売上高は、エレベータ新設工事が大きく増加したことにより、290億61百万円（前年同四半期比34.7%増）となり、営業利益は、売上高の増加や原価低減に加え、輸出の採算改善などで、28億48百万円（同12億94百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質12.8%増となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、1,424億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ197億64百万円増加しました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ129億23百万円増加し、572億94百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、前受金、長期借入金が増加したことによります。

純資産額は、851億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億41百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が20億56百万円、為替換算調整勘定が46億73百万円増加したことによります。また、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は54.8%（前連結会計年度末比3.8ポイント減）となり、1株当たり純資産額は841.99円（同73.35円増）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、214億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億7百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益54億65百万円および前受金の増加に対し、売上債権の増加やたな卸資産の増加などで、52億7百万円の収入（前年同四半期比4億55百万円の収入減）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得7億36百万円の支出に対し、利息及び配当金の受取額3億16百万円の収入などにより、4億73百万円の支出（前年同四半期14億55百万円の収入）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の収入・返済の純額14億41百万円の収入に対し、自己株式の取得10億2百万円の支出および配当金の支払いなどにより、5億76百万円の支出（前年同四半期比17億23百万円の支出減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年3月期（2013年4月1日～2014年3月31日）の連結業績予想につきましては、2013年8月8日に公表した修正予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計方針

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

## (従業員持株会支援信託ESOPに関する会計処理方法)

当社は、2013年8月8日開催の取締役会において、中長期的な企業価値の向上を目的として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株会支援信託ESOP」（以下「ESOP信託」といいます。）の導入を決定し、同年9月18日開催の取締役会において、ESOP信託の設定時期、信託期間、取得株式の総額等の詳細について決定しています。

ESOP信託は、「フジテック社員持株会」に加入する従業員のうち、一定の要件を充足する者を受益者とする信託として、2013年9月25日に設定しました。当該信託は当社株式を毎月一定日に「フジテック社員持株会」に売却します。信託終了時に、株価の上昇により信託収益がある場合には、受益者たる従業員の取得株式数に応じて金銭が分配されます。株価の下落により譲渡損失が生じ信託財産にかかる債務が残る場合には、責任財産限定特約付金銭消費貸借契約の保証条項に基づき、当社が銀行に対して一括して弁済するため、従業員の負担はありません。

ESOP信託に関する個別財務諸表の会計処理については、総額法を適用しており、ESOP信託が所有する当社株式は純資産の部に自己株式として表示し、借入金は負債の部の長期借入金に表示しています。なお、当第2四半期連結会計期間末において、総額法の適用により計上されている自己株式の帳簿価額は999百万円（926,000株）、借入金の帳簿価額は999百万円です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,446	39,207
受取手形及び売掛金	31,039	36,377
商品及び製品	3,204	3,989
仕掛品	4,738	6,160
原材料及び貯蔵品	5,944	7,825
その他	5,284	6,825
貸倒引当金	△920	△1,215
流動資産合計	80,736	99,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,409	17,465
機械装置及び運搬具(純額)	2,148	2,232
工具、器具及び備品(純額)	1,547	1,634
土地	6,816	6,830
リース資産(純額)	3	1
建設仮勘定	833	944
有形固定資産合計	28,759	29,109
無形固定資産		
のれん	689	724
その他	2,447	2,820
無形固定資産合計	3,136	3,544
投資その他の資産		
投資有価証券	5,020	5,563
長期貸付金	1,913	1,913
その他	3,207	3,236
貸倒引当金	△130	△129
投資その他の資産合計	10,011	10,584
固定資産合計	41,907	43,238
資産合計	122,643	142,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,403	15,724
短期借入金	600	1,072
1年内返済予定の長期借入金	1,474	1,214
未払法人税等	1,345	1,889
賞与引当金	2,333	2,058
工事損失引当金	3,434	4,369
その他の引当金	515	419
前受金	11,752	18,489
その他	5,094	5,523
流動負債合計	39,953	50,761
固定負債		
長期借入金	67	1,807
退職給付引当金	4,037	4,407
その他	312	317
固定負債合計	4,417	6,532
負債合計	44,371	57,294
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,565
利益剰余金	61,520	63,576
自己株式	△134	△1,136
株主資本合計	88,485	89,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,021	1,374
為替換算調整勘定	△17,589	△12,916
その他の包括利益累計額合計	△16,568	△11,541
少数株主持分	6,355	7,116
純資産合計	78,272	85,114
負債純資産合計	122,643	142,408



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
売上高	53,715	65,622
売上原価	41,795	51,433
売上総利益	11,920	14,189
販売費及び一般管理費	8,291	9,135
営業利益	3,628	5,053
営業外収益		
受取利息	172	283
受取配当金	62	78
為替差益	—	151
その他	94	143
営業外収益合計	329	656
営業外費用		
支払利息	32	45
為替差損	158	—
その他	23	46
営業外費用合計	214	91
経常利益	3,743	5,618
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	23	3
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	49	5
退職特別加算金	—	144
特別損失合計	73	153
税金等調整前四半期純利益	3,670	5,465
法人税、住民税及び事業税	801	2,106
法人税等調整額	368	△497
法人税等合計	1,170	1,609
少数株主損益調整前四半期純利益	2,500	3,856
少数株主利益	522	864
四半期純利益	1,977	2,992

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,500	3,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△326	353
為替換算調整勘定	819	5,576
その他の包括利益合計	493	5,929
四半期包括利益	2,993	9,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,361	8,019
少数株主に係る四半期包括利益	631	1,767

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,670	5,465
減価償却費	992	1,050
貸倒引当金の増減額(△は減少)	90	140
受取利息及び受取配当金	△234	△362
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△385
工事損失引当金の増減額(△は減少)	8	820
売上債権の増減額(△は増加)	△106	△2,264
たな卸資産の増減額(△は増加)	△110	△2,535
仕入債務の増減額(△は減少)	238	793
前受金の増減額(△は減少)	2,012	4,793
有形固定資産除売却損益(△は益)	22	3
その他	△184	△688
小計	6,364	6,832
法人税等の支払額	△701	△1,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,662	5,207
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,191	△5,065
定期預金の払戻による収入	5,100	5,224
有形固定資産の取得による支出	△584	△736
有形固定資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の売却による収入	1	0
利息及び配当金の受取額	206	316
その他	△78	△213
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,455	△473
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,363	355
長期借入れによる収入	—	1,722
長期借入金の返済による支出	△5	△281
自己株式の取得による支出	△0	△1,002
利息の支払額	△34	△41
配当金の支払額	△654	△935
少数株主への配当金の支払額	△237	△220
その他	△4	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,300	△576
現金及び現金同等物に係る換算差額	254	1,750
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,072	5,907
現金及び現金同等物の期首残高	9,718	15,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,790	21,426

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、「従業員持株会支援信託ESOP」の導入により、ESOP信託が当社株式を取得したことに伴い、自己株式が999百万円増加しています。

上記の影響により、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,136百万円となっています。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,503	5,784	156	5,088	20,182	53,715	—	53,715
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,441	7	3	0	1,394	2,847	△2,847	—
計	23,945	5,792	159	5,088	21,576	56,563	△2,847	53,715
セグメント利益又は 損失(△)	1,249	79	△12	774	1,554	3,644	△16	3,628

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△16百万円には、セグメント間取引消去6百万円およびたな卸資産の調整額△23百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,746	6,894	201	5,938	26,842	65,622	—	65,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,212	15	5	0	2,219	4,452	△4,452	—
計	27,958	6,910	206	5,939	29,061	70,075	△4,452	65,622
セグメント利益又は 損失(△)	1,563	△47	△21	913	2,848	5,256	△203	5,053

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△203百万円には、セグメント間取引消去6百万円およびたな卸資産の調整額△210百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1)受注及び販売の状況

## ①受注状況

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の受注および受注残高は次のとおりです。

	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前期末比(%)
国内	34,461	27.6	46,681	23.2
海外	53,458	47.1	98,280	38.3
合計	87,920	38.8	144,961	33.0

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

## (当第2四半期連結累計期間における主な受注物件)

所在地	納入先	概要
米国・ニューヨーク州	シティ・ポイント2期	住宅・商業施設から成る複合施設向けエレベータ14台
シンガポール	マリーナ・ワン	オフィス・住宅・商業施設から成る大型複合施設(第1期工事)向けエレベータ58台
インド・カルタカナール州	RMZガレリア	バンガロールの複合施設向けエレベータ・エスカレータ計47台
中国・北京市	中国鉄建・北京山語城	大規模住宅向けエレベータ73台
中国・重慶市	中渝国際都会	大型複合ビル向けエレベータ・エスカレータ131台
中国・内モンゴル自治区	神宝嘉園小区	大規模住宅向けエレベータ106台
東京都	拓殖大学文京キャンパス	新校舎向けエレベータ・エスカレータ計18台
仙台市	仙台市地下鉄東西線 卸町駅、連坊駅	地下鉄駅舎向けエレベータ・エスカレータ計24台

## ②販売実績(売上高)

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の販売実績(売上高)は次のとおりです。

	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
国内	25,716	14.4
海外	39,906	27.7
合計	65,622	22.2

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

## (当第2四半期連結累計期間における主な完成物件)

所在地	納入先	概要
米国・オハイオ州	ネーションワイド・チルドレンズ・ホスピタル	コロンバス市の大型小児科病院向けエレベータ15台
カナダ・アルバータ州	カルガリー・ライトレール・トランジット	カルガリー市のライトレール駅舎向けエレベータ・エスカレータ計25台納入
韓国・金海市	ロッテプレミアムアウトレット金海	複合商業施設増床に伴いエレベータ・エスカレータ計29台納入
東京都	アークヒルズサウスタワー	地下鉄六本木一丁目駅に直結する高層オフィスビル向けエレベータ・エスカレータ計21台納入
滋賀県蒲生郡	三井アウトレットパーク滋賀竜王	2010年開業の大型商業施設増床に伴いエレベータ・エスカレータ計12台納入
大阪市	イオンモール大阪ドームシティ	京セラドーム大阪に隣接する大型商業施設向けエレベータ28台納入